

令和5年度福島県地域創生総合支援事業(サポート事業)

【県北地域】活動事例集

私たち、
こんなことやりました！

県北地方振興局管内における令和5年度福島県地域創生総合支援事業(サポート事業)補助事業者の取組報告です。

福島県県北地方振興局

【令和5年度地域創生総合支援事業(サポート事業)《県北地方》実施事業】

【一般枠】

- 1 選奨土木遺産「福島石橋群」を活用した地域活性化事業
- 2 地域による学生食堂『-flat lunch- ふらっとランチ』事業
- 3 もとみやロンドンマーケット事業
- 4 キッズドリームミュージアムプロジェクト
- 5 桑折の魅力彩発見 集客・販路開拓事業
- 6 「古関裕而のまち・音楽の祭典:社歌、応援歌、他」
- 7 Goodジョブ！～持続可能な保原町の為に～
- 8 もとみやSDGs+ゼロカーボンプロジェクト～もっさい～
- 9 二本松PRプロジェクト「カム・カム・ママ・ママ」

【過疎・中山間地域活性化枠(集落等活性化事業)】

- 10 屋敷道(フットパス)の再生、里山資源の再考(再興)による地域活性化事業
- 11 UFOの里いいの聖地化プロジェクト
- 12 保全農法による市民体験型実習農場

【市町村枠】

- 13 デジタル変革推進事業
- 14 元気発信！国際交流都市もとみや創造プロジェクト
- 15 桑折町阿武隈川多目的親水公園利用促進事業
- 16 官民連携による産業再生事業
- 17 かわまたメタボ改善健康プロジェクト
- 18 オールかわまたで魅力発信！かわまたまるごと体験プロジェクト
- 19 国際交流を柱とした地域活性化事業
- 20 再生可能エネルギーを核とした農福連携推進プロジェクト
- 21 福島市街なか活性化事業

【市町村枠(健康関連事業)】

- 22 親子スポーツ・健康事業

新規

選奨土木遺産「福島の石橋群」を活用した地域活性化事業

〈一般枠〉

【実施団体】 福島の石橋群保存会

【事業内容】 「福島の石橋群」の歴史的価値やその利活用方法を検討するシンポジウムを核とした各種事業を実施することで、石橋群の歴史的価値を広く周知するとともに、他県の同種団体との連携も図りながら、地域資源としての利活用の機運を醸成することで、地域間の連携や、地域の活性化に資することを目的とする。

- ◆現地見学会(11月18日:福島市、川俣町)シンポジウム(11月19日:福島市建設センター)を開催
- ◆「山形の石橋群」(選奨土木遺産認定)現地視察及び意見交換(10月14日)
- ◆石橋群の保全活動、建設経過の研究 等

☆ここが自慢です！☆

- 事業を通じ、県内外の歴史研究に携わる団体・個人に石橋群の価値をアピールするとともに、連携を深めることができました。
- シンポジウムのWEB配信や、パネリストセッションへの熊本県パネラーのZOOM参加など、DXを活用した開催を行いました。



現地見学会



シンポジウム (パネリストセッション)



「山形の石橋群」見学会

新規

地域による学生食堂「-flat lunch- ふらっとランチ」事業

〈一般枠〉

【実施団体】

街なか活性化研究開発プラットフォーム(福島市)

【事業内容】

中心市街地の短期大学及び大学に所属する学生を対象に、市内飲食店及び就労継続支援 B 型事業所のワンコインのテイクアウト商品(ランチボックス)の注文を管理し、当日集荷して、会場の街なか広場で販売代行する事業です。

また、参加店舗の商品開発アドバイザー及び年一回のイベント「街なかお弁当グランプリ」を行います。

☆ここが自慢です！☆

○市内飲食店及び就労継続支援 B 型事業所が 12 店舗参加！ますます拡大予定です。

○大学と密に連携し、キャンパス内でお弁当を学生さんにお渡ししています。



新規

もとみやロンドンマーケット事業

〈一般枠〉

【実施団体】 本宮市商店街連合会(本宮市)

【事業内容】 地区商店街と昨年完成した阿武隈川右岸堤防の利用促進を目指し、本宮市と英国との交流関係を踏まえ、英国文化を取り入れ、市民・商店街双方参加の定期的な多彩なマーケットやイベントを実施することで、中心市街地活性化と住民参加型の地域づくりのきっかけづくりを行った。

- ◆MOTOMIYAまちすごろく～2023 夏～の開催(7月22日 中條ゆめ広場)
- ◆ワンコインマーケットの実施(6月～10月)
- ◆ブリティッシュクラフトづくりの開催(10月15日 本宮地域交流センター)
- ◆オリジナルVチューバーの企画運営(5月～12月)

☆ここが自慢です！☆

- 親子参加型のイベントを開催することで、多くの方に参加していただき、商店街の新たな一面を感じてもらえました。
- オリジナルVチューバーの製作により、インターネットを使った本宮市PR発信を行う環境づくりができました。



新規

キッズドリームミュージアムプロジェクト事業

〈一般枠〉

【実施団体】 一般社団法人もとみや青年会議所(本宮市)

【事業内容】 子供たちに将来の夢と希望をもってもらうキッカケになることを目的に、本宮市を中心とした様々な業種の県内事業者の方々にアート、クラフト、パフォーマンス、スポーツなどの体験ブースを出店いただき、福島のシゴト総合体験イベント「キッズドリームミュージアム in Motomiya City」を開催しました。2日間で約 5,100 名の一般来場があり、子供連れを中心としたファミリー層に楽しんでいただくことが出来ました。

- ◆「キッズドリームミュージアム in Motomiya City」の開催(9/16 日・17 日本宮運動公園)
- ◆出展者事前交流会を実施し、県内事業者の事業者間交流を促進
- ◆イベント終了後に、出展者、本宮市を交えた結果報告会を実施

☆ここが自慢です！☆

○イベント当日には約 90 個ほどの体験ブースを出店いただき、多くの子供たちに楽しんでいただくことが出来ました。

○県内を中心に約 210 社の協力、協賛、出店をいただくことができ、事業者間の交流の機会をつくることも出来ました。



さいはっけん 桑折の魅力彩発見 集客・販路開拓事業

〈一般枠〉

【実施団体】 桑折町商工会(桑折町)

【事業内容】 桑折町の観光/名産/特産、イベント、事業者の取り組み等に関する情報の掘り起しと、効果的な伝達方法を検討し、改めて町内外へ広く発信することによって、地域の魅力を再発見(彩発見)いただき、“継続的な集客”と“事業者の認知向上・販路開拓”へ繋げる。

- ◆大学生との連携による、町内の見どころ紹介動画の作成
- ◆情報発信ネットワーク「こおりサーチちゃんねる」の構築・開設
- ◆イベント「ふくしまポークフェス in 桑折」の開催(10月8日 桑折町ふれあい公園)

☆ここが自慢です！☆

- 大学生(若者)による“独自の視点”と、枠にとらわれない“自由な発想”を活かし、「食」「産業」「自然(景観)」をテーマとした紹介動画を作成しました。
- 「こおりサーチちゃんねる」は、ホームページ(ポータルサイト)・LINE・Instagram の連携によって広く情報を発信・拡散し、より多くの方に地域の魅力を知っていただくことを目的とした、本事業における“軸”となりました。今後は更なる内容の充実によって、フォロワーの増加が期待されます。
- 「ふくしまポークフェス in 桑折」は、福島県産のブランド豚肉に特化したイベントとして開催。町内はもとより町外・県外からも多数の来場(約7,400名)があり、桑折町産『ロイヤルピーチポーク』をはじめ、出店事業者や地域自体の効果的なPRの場となりました。



継続

2年目

古関裕而のまち・音楽の祭典

〈一般枠〉

【実施団体】 音楽による福島まち造り実行委員会（福島市）

【事業内容】 NHK 連続テレビ小説「エール」が放送され、全国的に周知された福島市名誉市民の天才作曲家・古関裕而の楽曲をオーケストラ曲に編曲して演奏し、「古関裕而のまち・ふくしま」の進展と発展のため、古関裕而の功績をレガシーとして継承する試みです。1年目の令和4年度(令和5年2月開催)では、古関裕而作曲の校歌をとりあげました。令和5年度(令和6年2月開催予定)では、古関裕而作曲の社歌に焦点をあてた演奏会を予定しています。

- ◆木幡浩福島市長による基調講演「古関裕而のまちづくり」
- ◆コンサート「古関裕而のまち・音楽の祭典:校歌」（県内小学校4校、中学校4校、高校1校の校歌を演奏）
- ◆コンサート「古関裕而のまち・音楽の祭典:社歌」（ラジオ福島、東邦銀行、日東紡績 ほか）

☆ここが自慢です！☆

- 古関裕而のまち「ふくしまチェンバー・オーケストラ」を起用し、地域の優れた芸術文化の再認識と更なる活性化を目指しています
- 9校・260名の児童生徒が校歌をまずはピアノ伴奏・ついでオーケストラ伴奏で歌い、生涯にまたとない体験を寄与しました



継続
2年目

Good ジョブ！～持続可能な保原町のために～

〈一般枠〉

【実施団体】 保原町商工会青年部(伊達市保原町)

【事業内容】 地元企業の技術を体感し、地元企業の魅力を感じることで、若者の地元定住と地元企業への定職の機会を増やすことを目標とすると共に、地元飲食店を地元の人に味わって知っていただくことで、外部への発信の機会を増やし、飲食店の活気を取り戻すことと、親子での時間を増やすことで、親子の絆の醸成を目的とします。

- ◆保原町の小学5・6年生を対象に地元企業の職業体験、税金に関する授業を実施(11月11日)
- ◆事業当日の様子を当青年部公式 SNS にて情報発信をし、事業及び保原町のPRにつなげる
- ◆職業体験を経て配布される給料(夕食券)を親子での飲食に利用することで、子供が初給料での親孝行を体感してもらう

☆ここが自慢です！☆

○地元を「働く場・思い出の場」としての価値を若いうちから伝えることで、将来の選択時の一つとして「地元」が思い描かれ、地元への定住や定職が促進するモデルとなることができる。



継 続

2年目

もとみや SDGs+ゼロカーボンプロジェクト ~もっさい~

〈一般枠〉

【実施団体】 もっさいプロジェクト

【事業内容】 本宮市民への SDGs とゼロカーボンに対して意識向上の為の啓蒙活動を行う。

市民と企業が参加出来る環境問題活動を行い地域活性化を行う。

学生・市民参加促進、環境改善意識と地域技術のマッチングによる地域力の向上を行う。

- ◆SDGs ワークショップ開催（小学生対象）ゲーム（かるた）
- ◆SDGs ワークショップ開催（高校・大学生対象）ゲーム（かるた） & ゴミ拾い
- ◆啓蒙活動イベント「もっさい」開催

☆ここが自慢です！☆

- 環境問題かるたを使い、小学生から大学生までゲーム感覚で、現在の環境問題を考えてもらった。
- 啓蒙活動イベントを開催し、地域の方々に「環境問題」「電力の大切さ」を知ってもらった。



継続

2 年目

二本松 PR プロジェクト「カム・カム・mam・mam」

〈一般枠〉

【実施団体】 二本松市(全域)

【事業内容】 現在、二本松市及び地方自治体が抱える「人口減少」「地域経済の衰退」の課題に対し、動画プロモーションと体験型のイベントを実施し、同市への「関係人口増加」を目的に開催していく。

さらに、官民一体となったプロモーション体制を整えるために、情報発信サイトを当任意団体が継続的に運用。各関連団体の PR 動画の掲載はもちろん、市内事業者の PR 動画も掲載していくことで、本当の意味での官民一体となった地方プロモーションの実現に向けて活動をしていく。

- ◆認知度向上: プロモーション動画を制作し、にほんまつの魅力を PR
- ◆関係人口増加: 体験型のイベントを実施し、実際に「そのもの」に触れてもらうことで関係人口増加を図る
- ◆継続的情報発信: にほんまつ PR 動画を民間の情報発信をサポート
- ◆民間の巻き込み: YouTube/SNS での情報発信セミナーを開催し、民間からの情報発信をサポート

☆ここが自慢です! ☆

- 二本松市になかった動画をメインとした市民参加型のサイトを運営を継続。②期目は(3分10本と30秒7本の計17本)
- 二本松市を移住先、観光案内等に検討していただくための官民一体のイベント(スタンプラリー)事業展開



新規

屋敷道(フットパス)の再生、里山資源の再考(再興)による地域活性化事業

〈過疎枠〉

【実施団体】 北戸沢保全会(二本松市)

【事業内容】 現在は使われなくなった屋敷道(フットパス)を再生するとともに、その持続的な利活用のため、屋敷道に付随して存在する里山資源の資源化(薪、炭等)の手法を確立、それらを通じた地域間交流に取り組み地域活性化を目指します。

- ◆ 現在は使われなくなった屋敷道の踏査、地元住民からの聞き取り、アンケートの実施
- ◆ 屋敷道のフットパスとして再生整備、看板設置、マップ作成
- ◆ 里山資源の利活用についての研究

☆ここが自慢です！☆

- 「大学生と集落の協働による地域活性化事業」を活用し、大学生(福島大学岩崎研究室)の発案、協働により事業を実施しています。
- 古道の整備だけでなく付随する農地、農林地の有効活用も目指しています。

屋敷道踏査



屋敷道再生中



聞き取り調査



看板設置



継続

3年目

UFO の聖いの聖地化プロジェクト

〈過疎・中山間地域活性化枠(集落等活性化事業)〉

【実施団体】 いいの街なか活性化委員会(福島市)

【事業内容】 日本における UFO 研究の第一人者である荒井欣一氏が設立した日本空飛ぶ円盤研究会の意思を受け継ぎ発展させ、小惑星探査機「はやぶさ」による宇宙研究とも連携し、新たに国際未確認飛行物体(UFO)研究所を設立し、会員制の導入、各種研究イベントによる関係人口の拡大、UFO レアグッズなどの商品開発を進め、UFO の聖地化を図る。こうしたコンテンツを活用し、福島市飯野町の知名度向上を図り、UFO 体験などの観光による交流人口の拡大、地域経済の活性化、地域住民の地域愛の醸成へと繋げる。

◆「UFO の日」特別企画(6月24日、25日)

- ・UFO ふれあい館入館無料
- ・UFO 目撃情報の調査、分析結果公表等の UFO 研究所活動報告会(記者会見)
- ・千貫森ミステリーツアー
- ・飯野のうまいもの市

◆UFO フェスティバル 2023 (UFO の里まつり…同時開催)(11月11日、12日)

- ・宇宙人仮装パレード&宇宙人コンテスト、トークイベント(11日開催)
- ・千貫森ミステリーツアー(12日開催)

◆世界中の UFO 目撃情報の収集、分析や UFO の里千貫森の謎の調査研究、UFO 関連商品の開発・販売

☆ここが自慢です！☆

○事業を通じ、UFO という夢とロマンをキラコンテンツとして活用し地域の魅力を発信しました。

○国内初の UFO フェスティバルを開催し、過疎化の町が UFO ファンで埋め尽くした。(昨年より来場者が大幅に増えた)



保全農法による市民体験型農場

〈過疎・中山間地活性化枠(集落等活性化事業)〉

【実施団体】 中山間永田集落(二本松市)

【事業内容】 当初の2年間は、新規就農者や農業経験のない市民を中心に実習を行ってきたが、今年度は将来就農を目指す市民の方と有機農業、不耕起栽培に「本格的」に挑戦する方々を軸に実習を行った。今年度は、その生産された作物の品質の向上と販売戦略の組み立てに挑んだ。

- ◆有機栽培、不耕起栽培に専任の講師を配置し、きめ細かな栽培実習を行った。
- ◆直売所を設置して、栽培作物の品質向上と「オーガニック作物」について消費者との交流を深めた。
- ◆全国の大学生、高校生、地方議員、商工会など多様な方々が視察に訪れた。12団体86名が来場した。

☆ここが自慢です！☆

- 3年目で不耕起栽培での里芋、葉物野菜の品質の向上と生産量の拡大ができた。実習生に確信が芽生えた。
- 地元農家の女性たちが、多数実習に参加し、有機栽培、不耕起栽培への興味が広がった。



継続
2年目

デジタル変革推進事業

〈市町村枠〉

【実施団体】 伊達市

【事業内容】 誰もがデジタル化によるメリットを享受できる地域社会の構築に向け、地域内でのICTに精通した人材を育成するための「デジタル活用サポーター育成講座」、高齢者などのデジタルが不慣れな方を対象とした「スマホ教室」、かねてよりニーズが多かった「スマホ相談コーナー」設置を行う。

- ◆7月～8月、翌1～2月に、デジタル活用サポーター育成講座を開催。(昨年度:1回⇒今年度:2回)
- ◆8月～翌2月に、スマホ教室を市内5地域で開催。(昨年度:基本編・応用編⇒今年度:入門編も追加)
- ◆11月～翌2月に、オンラインによるスマホ相談コーナーを設置。(今年度より5地域 43 日間実施)

☆ここが自慢です！☆

- デジタル活用サポーター育成講座の受講者に市のDXの取組を紹介したり、デジタルデバイスに関する意見交換を行ったりするだけでなく、スマホ相談コーナーのスタッフとして参加いただく等、地域のICT人材の育成がより進展しました！
- 前年度の意見等を踏まえ、受講者のレベルに合わせてスマホ教室の難易度を設定することで、受講者が徐々にレベルアップしながらスマホに慣れ親しむことができるようになりました！
- 個別にスマホの悩みが相談できる「スマホ相談コーナー」は12月末時点で175件の利用があり、たいへん好評いただいております！



▲デジタル活用サポーターの方々



▲スマホ教室の様子



▲スマホ相談コーナーの様子

継続
3年目

元気発信！国際交流都市もとみや創造プロジェクト

〈市町村枠〉

【実施団体】 本宮市

【事業内容】 地域住民向け、企業向け、外国人向けの3つの切り口で複合的事業を展開し、国際交流都市もとみやを創造し、持続可能な地域の活力維持を図る。

- ◆英国文化普及促進→ 英国文化企画展、英国文化講演会・体験講座(アフタヌーンティー)の開催
- ◆地域経済活性化→ 英国風メニュー創作参加店募集とPR、英国グルメ食べ歩きスタンプラリーの実施
- ◆国際文化交流・日本文化振興→ 市内中学生を英国に派遣し、親善活動と現地生徒との交流事業を実施

☆ここが自慢です！☆

- 18～19世紀に英国で発展した「ボタニカルアート・ウェッジウッド陶器」の展覧会や講演会等を開催し、多数の来場者が訪れました。
- 英国グルメ食べ歩きスタンプラリーでは、各店舗が工夫を凝らしたバラエティーに富んだ英国料理を市内外多くの方が楽しみました。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた「未来へつなげるもとみや英国訪問団」を4年ぶりに結成。市内中学生が英国の関係機関を訪問し、親善活動を行いました。また、英国ダヴェナント・ファウンデーション・スクールの生徒と日本文化やスポーツを通して交流を行いました。中学生たちは、さまざまな体験を通して、国際的な価値観と郷土文化の大切さを学びました。



継続
2年目

桑折町阿武隈川多目的親水公園利用促進事業

〈市町村枠〉

【実施団体】 桑折町(桑折町)

【事業内容】 令和4年3月に阿武隈川多目的親水公園「ピーチリパーク 157」が完成したことから、1年目は施設の魅力や知名度の浸透を図るイベントを実施しました。2年目となる今年度は、施設に隣接し本町の特産品である「桃」の花が満開となる4月16日に、町内各所を出発し桃樹園地を經由し「ピーチリパーク 157」を終着点とするウォーキングイベントを実施しました。終着地では、アウトドアに興味を持ってもらう体験コーナーや地元商店街等による出展ブースを設け町内外約800人の方に参加いただき、町や施設の魅力を発信することができました。

◆ピーチリパーク 157 を核としたイベントの開催(4月16日 献上桃の郷 30周年元気ウォーク)

◆広場周辺の地域住民による清掃活動

☆ここが自慢です！☆

○「ピーチリパーク 157」が整備されたことから、イベントを通じて施設及び町のPRを行いました。

○4月には桃の花が満開になり多くの方が来町されることから、広場内に大型駐車場を整備したことにより、広場と周辺を一帯で楽しむことができる。



継続
3年目

官民連携による産業再生事業

〈市町村枠〉

【実施団体】 国見町

【事業内容】 藤田商店街は空洞化が顕著で、特に産業(商業)の担い手・後継者不足が課題となっている。まちづくりリノベーションの第一人者である(株)らいおん建築事務所の嶋田洋平さんをアドバイザーに、新しいコミュニティを創出するため、1年目は遊休不動産の調査や企画、設計を行い、2年目は具体的に町の遊休不動産である大坂住宅リノベーション工事の設計業務及びそのプロモーションを行った。3年目はリノベーション工事により完成した大坂オフィスの入居者募集の広報周知等を行うほか、藤田商店街等の遊休不動産オーナーと起業希望者等のマッチング支援を行った。

◆大坂オフィスの入居者募集の広報周知等

◆藤田商店街等の遊休不動産オーナーと起業希望者等のマッチング支援(まちなかインキュベーション事業)

☆ここが自慢です！☆

○公共の遊休不動産がついにオフィスに生まれ変わり、県外事業者が入居するなど周辺エリアの活性化に希望の光が！

○商店街等の遊休不動産のマッチング支援を実施！実際に起業希望者等が遊休不動産を利活用するイベントを開催！



～R5.7に完成した大坂オフィス～



まちなかインキュベーション事業
イベントチラシ

新規

かわまたメタボ改善健康プロジェクト

〈市町村枠〉

【実施団体】 川俣町

【事業内容】 町民が楽しみながら健康増進を図り、結果としてメタボ改善につながるイベント等を開催した。

具体的には、川俣町の豊かな里山を活用した登山及び減塩やカロリーを抑えた食事を実食する「健康登山事業」や、ヨガ・太極拳の体験教室を交えたウォーキング大会を開催。また、住民けんしん受診に応じて健康ポイントが貯まる「川俣町健康ポイント事業」を行い、健康意識の醸成を図ると共にメタボ改善へ寄与する取り組みを行った。

◆「里山トレッキング in 花塚山」の開催(令和5年5月20日 花塚山)

◆「かわまたグッとスマイルウォーキング」の開催(令和5年10月22日 川俣町中央公民館スタート、ゴール)

◆かわまた健康ポイント手帳の作成

☆ここが自慢です！☆

- 全年齢に人気のある登山及びウォーキングを行ったことで、幅広い年齢の方から参加いただき、参加者から来年度も是非参加したいとの声がありました！
- 町広報誌への記事掲載の他、住民けんしんや各種イベント等で積極的なPR活動を行いました！
- 健康ポイント事業につき参加項目や達成記念品を拡充し、結果として参加者が前年度から飛躍的に増加。健康に対する意識が高まりました！



継続
2年目

オールかわまたで魅力発信！かわまたまるごと体験プロジェクト

〈市町村枠〉

【実施団体】 川俣町

【事業内容】 道の駅かわまたにおいて、本町ならではの食や歴史、文化の魅力発信を目的とし、季節に応じたイベントやワークショップを開催し、町の中心となる道の駅の賑わいを創出し、町全体の活性化を図る。加えて、本町の代表的な地域資源である里山を活用したデジタルスタンプラリー事業を開催して、総合的に魅力を発信し、新たな来訪者を増やすことで、地域魅力の向上、地域経済の活性化を図る。

- ◆道の駅かわまたイベントの開催
- ◆里山を活用したデジタルスタンプラリーの開催

☆ここが自慢です！☆

- 事業を通じて川俣町の魅力を発信することができ、道の駅の賑わい創出、活性化に寄与できました！
- 里山を活用したデジタルスタンプラリーを開催し、町内外の参加者に里山の魅力を発信できました！



新規

国際交流を柱とした地域活性化事業

〈市町村枠〉

【実施団体】 大玉村

【事業内容】 世界遺産マチュピチュ遺跡を有するマチュピチュ村との友好都市協定締結により交流を進めており、令和5年1月に新マチュピチュ村長が就任された。これを受けて、マチュピチュ村長を大玉村へ招へいし、今後の両村の交流内容を明確にするため交流活動指針の締結を行う。

また、住民の国際交流に対する理解を醸成するため、住民参加型のイベント等を開催し、国際交流に対する敷居の高さを払拭するとともに国際交流人口の増加を図る。

- ◆友好都市交流を継続するため、新たな交流活動指針の締結式を開催
- ◆住民参加型の「マチュピチュ村長来村記念トークイベント」の開催
- ◆中学生との意見交換、消防団訓練視察、村内農家視察(ワインぶどう・果樹・きゅうり)

☆ここが自慢です！☆

- マチュピチュ村との友好都市協定締結から8年が経過し、節目の10年(令和7年度)に向かって住民が一丸となり事業推進が可能となる。
- 国際交流に閉鎖的であった村民意識が改革され、ホストファミリーの登録者が増加するなど別事業でのホームステイ受入れの実現が図られる。



交流活動指針締結式



マチュピチュ村長来村記念トークイベント
令和5年度福島県地域創生総合支援事業(サポート事業)【県北地域】『私たち、こんなことやりました!』



消防団訓練視察

継続
2年目

再生可能エネルギーを核とした農福連携推進プロジェクト

〈市町村枠〉

【実施団体】 大玉村

【事業内容】 東日本大震災仮設住宅跡地の活用を図るとともに、再生可能エネルギーで発電した電力を利用した施設園芸を障がい者や高齢者の雇用により行う農福連携推進のためのプロジェクトを展開し、本村の復興創生につなげる。

令和5年度においては、昨年度策定した「おおたま再エネアグリパーク基本構想」に基づき、福祉分野と農業分野とのマッチングによる連携体制を構築しながら、プロジェクト推進に向けた運営体制の整備や雇用計画・栽培計画など事業計画の立案を進めていく。

- ◆農福連携推進のための事業計画立案
- ◆農福連携モデル事業の実施(生産者と障がい者のマッチング)
- ◆「産学官金福連携」による推進体制の整備(プロジェクト検討委員会を設置しての事業検討)

☆ここが自慢です！☆

○農業生産者や福祉事業所との意見交換や先進地視察などを重ね、地域の実情に即した形での農福連携の実現に向けて検討を進めている。

生産者との意見交換会



農作業に取り組む福祉事業所の視察



再エネと農福連携の拠点整備のイメージ



新規

福島市街なか活性化事業

〈市町村枠〉

【実施団体】 福島市

【事業内容】 街なか賑わいの創出とさらなる活性化を図るため、開催日を「まちなかこどもの日」と位置付け、福島駅前通り、まちなか広場等において、ミニ遊園地や体験型アミューズメントなどの子どもや親子連れを主な対象としたイベントを、商店街等との連携を図り開催した。

- ◆街なかテーマパークの開催(キッズコンテンツ、ステージショー、VR体験、プログラミング教室、フードコンテンツ)
- ◆街なかみんなでおもてなし(商店街の協力店舗による限定お子様ランチの提供)

☆ここが自慢です！☆

- 街なかでロードトレインが走ったり、ポニーとふれあいができたりと、非日常空間が広がり、子どもたちも大喜びでした！
- 開催日限定のお子様ランチを提供！各店舗趣向を凝らしたお子様ランチを多くの方に味わっていただくことで、街なかへ愛着を持つ機会をつくることができました。



新規

親子・スポーツ事業

〈市町村枠〉

【実施団体】 桑折町

【事業内容】 子どもたちの体力低下が懸念されることから、すべての子どもたちに身体を動かす機会を提供し、「運動すること」を身近な存在にする。

楽しく遊びながら、身体を動かす気持ちよさや楽しさを感じてもらうことを目指す。

最終的には、子どもたちの運動意識の向上を図ることで、健康な体づくりにつながることを若いうちに学んでもらい、将来的な健康寿命の延伸を図る。

◆田端健児講演会&陸上教室

◆ミズノ流忍者学校(予定)

☆ここが自慢です！☆

○オリンピック選手による講演会を開催し、運動・健康への重要性を学ぶとともに、運動習慣への意識付けを高める。

○講演会終了後、小学生を対象に、陸上教室を開催。9月開催予定の小学生陸上競技大会での記録アップを図るため、個人の運動能力を上げる。

